2024年3月号

米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

東日本大震災から13年経ちました。また今年元日の能登半島地震も大きな被害をもたらしましたね。

地震が起こった時の避難経路や連絡方法などについて家族で話をしていますか？

春は卒業や進学、就職や転勤などで通学先や勤務地が変わる季節です。年度変わりのこの時期、家族で防災会議を開いてはいかがでしょうか？

また、卒業や進学はライフプランが変わる時でもあります。保険の内容を確認することも忘れないでください。

今月号のちょっと気になるお金のコラム

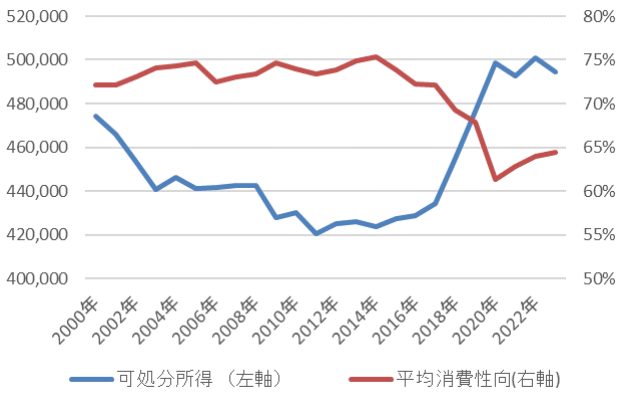
SNS上には多くの金融詐欺広告が掲載されています。正しい知識を身に着け金融詐欺にあわないようにしましょう。

家計調査

先月6日、総務省は令和５年家計調査を発表しました。ぎょうざやラーメンの消費ランキングが話題になっていましたね。

ランキング以外で気になったのは消費性向の推移でした。消費性向とは可処分所得に対して消費に回している金額の割合を表したものです。

下図は2000年からの可処分所得と消費性向の推移を表しています。



2010年代後半から可処分所得は上がっている一方消費性向は大きく下がっています。医療・年金・介護などの社会保障に対する将来不安、教育資金準備の不安からこのような傾向が出ているのかもしれません。

将来の不安をなくし今も充実させるためにも適切な金融商品の活用が大切になるのではないでしょうか？

1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

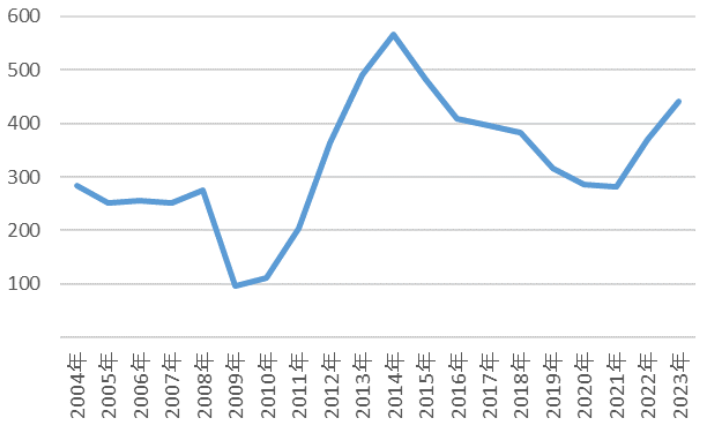
株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33　大阪府医師協同組合東館３階
電話06-6766-1511　携帯090-1152-3889　メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

特殊詐欺被害額　441.2億円

先月警察庁が発表した令和5年の特殊詐欺犯罪の被害額は441.2億円でした。下図は2004年から2023年までの特殊詐欺被害額の推移です。

2014年の566億円をピークに減少していましたが一昨年から増加傾向に転じ昨年は441.2億円と前年比70.4億円の増加となりました。



主な手口別の被害額は、オレオレ詐欺130.4億円、架空料金請求詐欺138.1億円、還付金詐欺51.3億円、被害者の78.3％が65歳以上の高齢者、犯罪の一番最初に用いられた欺罔ツールの77.4％が電話でした。

検挙された2499人の17.6％（446人）が少年でした。検挙された少年の71.5％が受け子として犯罪組織に利用されていました。

「犯罪実行者募集の実態」（警察庁）によるといわゆる闇バイトに応募し犯罪行為に加担するようになる流れの中で最も多いのは以下のパターンのようです。

① 自ら SNS で「高額報酬」等を検索・応募
② 犯行グループから連絡が入り、以降、匿名性の高いアプリでやりとり
③ 犯行グループに言われるがまま個人情報を送信
④ 犯罪行為への加担を拒否すれば犯行グループが個人情報を基に脅迫

SNSが犯罪の入り口になるケースがある一方SNSが詐欺被害の入り口になるケースも増えているようです。

SNS上の実在の金融機関の名称やロゴ、著名人の写真などを無断使用した金融広告から、LINEグループや情報商材サイトへ誘導したり、個人情報を不正取得したりするケースが多くなっています。

経済的に成功した著名人、経済評論家などが「投資で成功するための特別に指南するグループを作る」などと言う広告を目にするとつい内容を知りたくなってしまいますよね。

グループに登録すると「先生の指導で儲かった」「あなたもやった方がよい」などというサクラ会員からの働きかけや先生による特別な情報提供などがあるそうです。

先生の特別情報で利益が出るのですが、これは古典的な手口で会員Aには上がる、会員Bには下がる、と発信すると必ず半分は当たることになります。これを２，３回繰り返すとある会員から見るとすごい先生に見えるようになる、という仕組です。

報道によると千万単位の被害を受けている人も多数いるようです。

老後資金準備への不安、長寿による資産寿命を延ばす必要性、などから冷静に見れば怪しいとわかるものに飛びついてしまうのかもしれません。

正しい知識を身に着け適切な金融商品を利用してしっかりと準備をしていきたいですね。